

多業種共創による農村ビジネスプラン策定支援事業 概要

令和8(2026)年7月 農村振興課

【できること】

「農村地域で新たなビジネスをやりたい」という熱意や構想を持っているが、**具体的な計画・資金・仲間などが万全ではない**という方（キーマン）に対し、当該プロジェクトの**チーム構築・計画策定・資金調達**などを、**農村ビジネスの実績・専門知識**を持つ**専門家（県委託先：株式会社さとゆめ）**が**助言や改善提案等の伴走支援**を通じて、**事業化を徹底的にサポート**する。

※補助金ではないため、**資金の交付なし**。必要に応じて融資・C F・交付金などを活用

【支援対象の状況】（イメージ）

- 農村地域で**新しいビジネスを実施**し、生計を立てたい（or所得を増加させたい）。
- 農泊を中心として、**飲食や体験、観光などと連携**して、**地域全体の活性化、所得・雇用の増加**を図りたい。
- でも、**ビジネス化の具体的なノウハウが不足**しており、都会から客を掴み、**しっかりと利益を出せる状況にできるか不安**…。

【専門家による伴走支援】（イメージ） [※本事業による支援](#)

- 宿泊施設の**コンセプト設計、マーケティング実施**
- 地域全体としてのコンセプト設計、共感者の仲間づくり**
- ビジネスモデル・プランの作り込みワークショップ**
- 融資やC Fの実行に向けたノウハウ提供**

【伴走支援後の姿】（イメージ）

- 地域で、**キーマンのビジョン・構想に共感する仲間が集まり、プロジェクトチームが形成された**
- プロジェクトチームとしての事業コンセプト、実行スケジュール、役割分担、資金調達方法などが整理された**
- 計画された資金調達（例：農泊推進型）を実行し、事業の実証や事業化を実行していく**
- 上記の調達資金の一部により、引き続き**専門家の伴走支援を受け、取組を拡大（実行）していく**

※伴走支援後のビジネスプラン実行については、本事業の対象外です。

★本事業のポイント★

プロジェクトチームの一員のような形で専門家が伴走

【対象者選定】

面談等により、支援対象者を決定（9月頃）



【伴走支援】

県が委託した専門家（コンサル等）により、**構想の具体化、プロジェクトチーム構築**等を支援
⇒共創チーム構築

※地域の多様な主体との連携をサポート（農業、宿泊、飲食、加工・販売、金融、商工、メディア、体験etc）



【伴走支援】

専門家により、**ビジネスプラン策定**を支援

※当該プランには、実行段階の資金調達計画を明記
⇒**融資・C F・交付金**などを想定



【実行支援】

必要に応じて、自己資金等※により、**継続して当該専門家等に実行段階の伴走支援等を依頼**
※本事業の範囲外

※例：「農泊推進型」…
コンサル委託料、事業費（上限500万円/年）の5割まで